

むさし野

No.41

事務局 〒350-0822 川越市山田912-7 石井方
電話・FAX 049-225-2466
E-mail:ishii.0525@r8.dion.ne.jp
ホームページ: <http://www.longview.jp/musashino/>

研究一筋に走り続けた42年間

小林 薫（上里町）

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、幸多き新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、私にとって人生の大きな節目の年になりました。3月15日をもって会社を定年退職しました。高校を卒業して上京。当時を振り返れば、ただ都会への憧れだけで就職したようにも思います。その後いくつもの職を転々として、しまいには履歴書の職歴欄に書ききれないくらいになっていました。そんな中で人生の転機を迎えたのが営業を担当するようになり、お会いする方の殆どが人生の先輩方々でした。そこで自分自身の知識のなさを痛切に感じました。この時、初めて本当に勉強をしたい、知識を身につけたいと思うようになりました。35才の時でした。すでに結婚し子供も2人いましたので、果たして卒業まで続けられるかどうか悩みましたが、思い切って法政大学の通信教育部に飛び込むことができました。やはり予想は的中し、卒業まで12年の長い年月を要しました。最後まで続けられたのは、妻の飛び込んだからには何年かかろうと卒業するまで頑張ればの一言が大きな支えになりました。お陰様で今こうして法政むさし野会のみなさんとご一緒させていただいております。今にして思えば、ひたすら走り続けた42年間だったような気がします。好きなことをわがまま勝手にさせてもらいました。

特に定年までの6年間は、ほとんど土日返上で研究・開発に明け暮れの毎日で、それを許してくれた（半分諦めかも）妻や家族には感謝の気持ちで一杯です。

これから少しは家族孝行ができると思っていましたが、定年した翌日から再雇用になり、もう少し先になりそうです。このため今は、3年前から開発に取り組んでいるテーマを完成させ商品化させることです。この会報がお手元に届く頃には商品化され販売になっていると思います。内容は「界面活性剤を除去する濾過システム」です。具体的には、汚れた（油汚れも含む）ものを洗剤で洗った場合に大量の泡が発生します。この時に泡といっしょに油も、一般家庭であれば浄化槽に流したり、工場であれば何らかの処

理をして産廃業者に引き取ってもらっています。この産廃業者に引き取ってもらった「廃液」を処理する際に発生するCO₂、これこそが環境破壊に繋がる最たるものです。今回開発した濾過システムを導入することで、環境破壊を低減することが可能にできる商品です。

今回の研究テーマを、某大手銀行と新聞社が主催する新技術・新製品賞に評価を頂こうと応募しました。これまで2回受賞させていただきました。二度ある事は三度あるという諺のように精一杯精魂こめて書き上げました。来年4月の結果を待ちたいと思います。

一年の計は元旦にありと申しますが、ズバリ“三度目へのチャレンジ”です。どうか、会員の皆様にとりまして、今年も素晴らしい年になりますよう、お祈り申し上げます。

私の現在の楽しみのひとつに蕎麦打ちがあります。10年程前、地域の広報に男の料理教室というタイトルで蕎麦打ち体験が掲載されているのを偶然目にし、飛び込んだのが始まりです。本来ならば1回きりのはずが、この日を機会に毎月1回行うようになり、いつか「七本木そば愛好会」に発展、現在は女性の方も参加するようになりました。親睦を兼ねた新年会、暑気払い、本場の蕎麦を体験試食する旅行などを企画して楽しんでいます。

近年は、地域に密着した活動にも幅を広げて、地元中学生に蕎麦打ち体験や、今年は秋には地域の公民館祭りで、そば愛好会のメンバーの一員として、地域のみなさんに新蕎麦そばを打ち大勢の方に食べていただくことができました。これからも出来る限り蕎麦の様に細く長く続けて楽しみたいと思います。



公民館祭りでの小林さん
（満面の笑み）

そばかいせき はなわほきいち 蕎麦懐石と塙保己一記念館を訪問

秋の勉強会報告

石井 満(川越市)

11月6日(日)大宮駅(発)9時18分JR高崎行きプラットホームに予定の10分前に行くと、もう顔見知りの面々が5~6人談笑していた。

「おはようございます」と声を掛け合い、数ヶ月の無沙汰と今日の同道をお願いする。当日参加の桃木さんを含めて大宮から8名、全員5分前には揃い予定表に指示された最後尾の車両に向かう。

北本駅から榊原さんが合流されて9名、そして今日の目的地、埼玉県の北の外れ神保原駅改札口で我々を笑顔で迎えてくれた今回の企画・手配、そして今日は運転手までかって出てくれた小林さん。一行10名全員揃った。

上里町郷土資料館の外尾館長の卓越した郷土についての詳しいご説明を聞く。また会員からも質問が数多く飛び出し、その質問については自論・推論を含めて更に熱くご説明頂いた。その後、外尾館長の案内で、町の名刹・陽雲寺を訪れる。陽雲寺は鎌倉時代初期の元久2(1205)年の創建と伝えられ、かつての山城の名残をとどめるほか、また武田信玄とのゆかりもある。境内には県指定文化財となっている元禄銘のある銅鐘や、県指定旧跡となっている新田義貞の家臣であった畑時能の供養塔などがある。

次いで、盲目の国学者・塙保己一のお墓に参拝、生家は門構えの堂々とした茅葺屋根の国指定史跡文化財で、現在も末裔である荻野家が居住されている。記念館は雉



外尾館長から陽雲寺の由来を聞く



塙保己一の生家には今もご子孫がお住まい

岡城址公園内に在り、シルバー人材センターの倉持さんのご説明に改めて郷土の偉人の偉大なる功績を再認識させられた。

「蕎麦が伸びてしまいますので、皆さん急いで下さい」小雨の降りだした城址公園に小林さんの声が亘る。

「蕎麦工房・たかはし」は看板が無い。ご主人の高橋さんが定年を機に趣味の蕎麦打ちを予約が有る時だけ開店するという、変わった蕎麦処である。ご夫婦で営む家庭的な雰囲気の中、高橋さん自作ビデオ「定年後の価値観と行動」を拝見。そして、参加者全員の近況報告と雑談の2時間20分。地酒と新蕎麦に舌鼓を打った。

■ご寄付
長井純一(文学部教授)様
切手 2000円



「蕎麦工房・たかはし」で記念撮影

時間を有意義に使っています

中野次雄（川越市）

新会員の中野次雄と申します（平成22年文・史卒）。これから、宜しくお願ひします。

定年退職とともに、大学への思い捨てがたく文学部史学科に入学、今年三月卒業。しかし、大震災で合同卒業式は中止、各学部ごとの式となりましたが、被災者に思いをいたし、私にとって深く心に残りました。

私の生まれた川越の歴史と日々の近況についてお話しします。川越は「九里四里うまい十三里半」と、江戸と川越との距離をもじって、味の良さを歌われたサツマイモは、今でもこの地方の特産品の一つ。伝統に培われた商工業、豊かな歴史と文化を資源とする観光など、充実した都市機能を持ち、発展を続けています。

徳川家康により江戸幕府が開かれ、川越は北の守りとともに物資の供給源として重要視され、以来、廃藩に至まで八家二十一人の藩主を数え、知恵伊豆と言われた松平信綱、将軍綱吉に気に入られた柳沢吉保など、大老一人・大老格一人・老中六名が要職についています。領高も最大で十七万石を数えました。

現在私の住んでいる霞ヶ関駅周辺には、古代の住居跡が多く発見されており、歴史のつながりが感じられます。

◆現在も修士課程で勉強中

加藤次夫（さいたま市）

2011年3月文学部史学科を卒業した加藤次夫です。文・史（現在修士課程履修中）。よろしくお願ひします。

私は法学部（通学制）を卒業し、28年間社会人生活を送ったあとに、2009年春に一念発起して、法政大通信に入りました。会社を辞めたこともあり、学業も思うように進み、今春めでたく卒業できました。

現在は年にもめげず、法政の大学院人文科学研究科の修士課程です。今年、残念だったことは、楽しみにしていた卒業式も祝賀会も入学式も震災で中止となり、参加出来なかったことです。

現在の専攻は日本近代史で専門は日本統治時代の台湾の立法、司法、阿片政策です。レベルの高い授業について行けず、老眼鏡をかけながら日々本を読んでいます。近代史専攻修士6名中、私を含め通教出身者が3名、年齢でも私は上から3番目です。最近では将

その一つに河越城跡があります。平安時代から鎌倉時代にかけて武蔵武士が生まれ、荘園の実権を握るようになった。その荘園の領主として秩父からやってきた河越氏がとりわけ強力だった。鎌倉幕府設立後、河越重頼は源頼朝に重用された。重頼は木曾義仲討伐・平家追討に活躍したが、娘が義経の妻がゆえに、頼朝と義経との仲たがいが決定的になり、所領が没収され、命まで奪われてしまった。その後、暫く歴史の舞台から降板せざるを得なくなった河越氏である。今年で十六回目となる遺跡調査が行われる予定です。

近況はというと、土・日曜日となれば男ばかりの孫五人が遊びに来て、にぎやかそのもの、並んで道路を歩いていると、それは圧巻です。通りすがりの人は、それを見てただただ振り返り、やがて声が聞こえます。川遊び、山遊びと駆け回っており生傷は絶えず、又、ケンカ仲裁と一苦勞です。

その他、地元自治会や教育委員会の史跡調査に有り余る時間を有効に活用しています。

最後に、法大卒業生になったことを誇りに、一人の法大ファンとして、母校の発展を見守りたい。

来の学者を育てる場から、社会人の生涯学習の意味合いが強くなりました。

趣味は海外旅行で世界50か国以上訪問しましたが、最近ではカンボジアに凝っています。毎年2回ずつ行きますが、大した目的はなく、今では田舎帰りのような感覚です。

法政の通教は目に見えるように毎年学生が減り続け、スクーリングや単位修得試験会場もかつての活気はありません。在学中も卒業後も仲間のつながりが薄く、むさし野会のようなまとまりが各地にあり、卒業後のつながりだけでなく、在学生への支援の場になればいいかなと思っています。

石井代表のご尽力により、脈々と活動されているむさし野会にできる限り参加したいと考えておりますので、今後とも宜しくお願ひします。

次回の勉強会 ビデオ製作体験記と読書感想

2012（平成24）年2月12日（日）14:00～17:00

日時 2012年2月12日（日） 午後2時から

第1部 2時～3時50分

第2部 4時～5時

場所 パルコ浦和東口10F 第2会議室（浦和駅東口徒歩1分）

（*初めての会場になります。ご注意ください）

費用 500円

内容

・第1部

・発表者 筑井信明 「岩槻」のビデオ製作に参加して

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会に入っていますが、2011年の補助事業で「岩槻の文化」に関する活動を行うことになり、そのひとつとして、約17分のビデオ映像『時の旅人 岩槻編』を作成しました。全員がまったくの素人でしたが、試行錯誤の連続ながら作り上げ、発表会までしてしまいました。その顛末を報告したいと思います。

・発表者 石井 満 読書感想文『武士道』、『菊と刀』

新渡戸稲造の『武士道』は永らく本棚に積んで置いたままでした。『菊と刀』は『武士道』を読み終えてから購入しました。2冊とも何時か読みたいと思いながら、最近、やっと読みました。そこで、感銘した部分など、本の内容をむさし野会の友人に話してみたいと思います。

・第2部 茶話会（何でも話そう）

総会では中々人数が多いので時間の限りがあります。勉強会では井戸端会議ふうにご話せますので是非ご参加下さい。

*申し込みは1月31日までに石井までご連絡下さい。

（注）役員の方：13時より役員会を行います。



『時の旅人 岩槻編』より

2011年3月、卒業前後のこと

田邊洋子（川口市）

今年の3月に文学部、日本文学科卒業の田邊洋子です。よろしくお願ひします。

あの3月、私は「めざせ！武道館」と卒業を目前にし、「私でも袴を着ていけるかなあ」とお気楽に友人の顔を思い浮かべていた。しかし3月11日、周囲では祭事、行事の自粛とともに、私の武道館は消えました。66年前、原爆を落とされた日本が再度原子力・放射能に戸惑う姿を誰が想像したでしょう。

奇しくも、私の卒論『武田泰淳—諸行無常と平等』で戦争という脅威の中で、全ての行いは常にならず、絶えず変化し、人は等しく自己の平安のために足掻くという武田泰淳の世界を扱った。人間の想定には限界があるとともに、現代人は価値観の見直しを迫られて

いるようです。

さてあれから8ヶ月後、娘の結婚、犬の手術、さらに母の手術等と日々追われています。

ふっと見回せば周囲は老人ばかり、かくいう私も初老となるが、当地で立ち上げた日本語ボランティアに関わりながら、来年、現職復帰を目指しています。世の中50歳代の再就職活動はなかなか厳しいようです。しかし私は子供、親、家の諸事と格闘しながら、なんとか社会と繋がる道を模索していきたいと考えています。

今回はむさし野会に入会させていただきありがとうございました。皆様にお目にかかれる日を楽しみにしております。

◆あとかぎ◆

昨年3月11日からの出来事は、敗戦以後の、豊かさばかり求めて、勝者の論理で突っ走ってきた私達に猛省を与えてくれました。次回、2月の勉強会では皆様の意見交換を楽しみにしております。

（鳥海）